

介護対策を推進する観点から疾病予防・機能低下予防を推進するための研究

老化及び老化抑制機構の解明

痴呆、脳卒中、骨・関節疾患等の画期的診断・治療法の開発



医療や介護の必要な高齢者は全体から見るとごくわずか
健康リスクに応じたサービス提供とそれを支える研究の推進が必要

要医療・介護群

痴呆
脳卒中
約350万人
骨関節疾患

リハビリテーション技術の確立(特に痴呆)

介護支援機器の開発や居住環境に関する研究

効果的な介護予防メニューの開発

健康増進や疾病予防を推進する政策研究

高齢者の社会参加や自立に関する政策研究

痛み 低栄養 転倒経験
うつ傾向 約750万人 独居
物忘れ 75歳以上 女性

高危険群

機能低下予防を中心とした保健福祉サービス

健康増進 社会参加

元気群

疾病予防や自発的な健康増進への支援

健康な高齢者

約1300万人

高齢者の幅広い状態に対応した長寿科学研究の推進

新興・再興感染症研究事業

(背景) 近年、新たにその存在が発見された感染症や既に制圧したかにみえながら再び猛威をふるいつつある感染症が世界的に注目されている。これらの感染症は、その病原体、感染経路、感染力等が不明のため、日本国内で患者が報告された場合にパニックを引き起こす可能性もあるため、これらの感染症についての研究を推進し、国内及び諸外国の感染症対策に役立てることが緊急の課題となっている。また、新興感染症の多くは海外で発生しており、速やかに現地に赴き、リアルタイムでの調査・情報収集を行うことが重要である。

課題

- ・新興再興感染症の実態把握・病原体の解明・診断法及び治療法の開発等が必要
- ・新興感染症に迅速に対応するための疾患横断的な研究基盤の確立が必要
- ・国際的な感染症危機に対応するため、危機管理体制の強化が必要

具体的な研究課題

新興・再興感染症に対する診断法・治療法等の開発

- ・新興感染症に関する研究
- ・国内発生例が報告された再興感染症等に関する研究
- ・海外において拡大のおそれのある感染症に関する研究
- ・ハンセン病に関する研究
- ・寄生虫に関する研究
- ・動物由来感染症に関する研究

感染症対策のための基盤整備

- ・新世紀社会対応型基盤整備研究
- ・感染症新予防・診断技術開発に関する基盤研究
- ・感染症対策の効果的な実施のための分析疫学研究

感染症危機管理体制の強化

- ・国際感染症対策の推進に関する研究
- ・リスクコミュニケーション研究

国際協同研究の推進

- ・海外で発生した新興感染症等に関する実地調査研究

安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進

感染症等健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療を確保